

社会資本総合整備計画（重点配分対象事業） 事後評価書

平成 29 年 3 月 31 日

計画の名称	北九州市における身近に自然を感じる河川環境整備の推進									
計画の期間	平成25年度 ～ 平成26年度（2年間）			交付対象	北九州市					
計画の目標	<p>本市には市街地を流れる中小河川が多く、河川の清掃等のボランティア活動が古くから根付いている。</p> <p>また、河川は都市内に唯一残された貴重な自然区間である。</p> <p>この貴重な空間を市民の憩いと潤いの場として活用するために、遊歩道の整備等の身近に自然を感じる河川環境整備を行い、市民満足度の向上を図る。</p>									
計画の成果目標（定量的指標）	<p>・市民意識調査における河川環境整備の評価項目に該当する『公園の整備など、緑のまちづくりの推進』の『平均スコア』の5ヵ年平均値を0.518から0.590に増加</p>									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
	<p>・『市民意識調査』の『平均スコア』（=3,000人を対象とした市民意識調査における市政評価の順位1位3ポイント、2位2ポイント、3位1ポイントの合計/有効回答者数）の5ヵ年平均値</p>						0.518	0.561	0.590	
全体事業費 ※ 下段が実施	合計 (A+B+C)	12 百万円 11 百万円	A	12 百万円 11 百万円	B	0 百万円 0 百万円	C	0 百万円 0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0% (計画) 0.0% (実施)

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部内検討会議における評価</li> <li>・学識経験者からの意見聴取</li> </ul> (九州工業大学 水環境工学研究室 秋山 壽一郎 教授、九州工業大学大学院 交通工学研究室 寺町 賢一 准教授)	平成28年度 公表の方法 本市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 河川事業 ※■■■■ は地域自主戦略交付金対象期間																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業課所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） ※ 下段が実施					全体事業費（百万円）		継続/完了	進捗状況	
									H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施		着手済/全体	進捗度
A1-1	河川	一般	北九州市	直接	北九州市	統合河川環境整備事業（板櫃川）	河道整備（L=1.0km）	北九州市			■■■■			12.0	11.1	継続	1/1	100%
合計													12.0	11.1				

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度) ※ 下段が実施					全体事業費(百万円)		備考	
									H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施		
合計													0.0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業 ※■■■■ は地域自主戦略交付金対象期間																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度) ※ 下段が実施					全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		
									H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施		着手済/全体	進捗度	
C1-1	河川	一般	北九州市	直接	北九州市	板櫃川環境学習事業	環境学習、生態調査等	北九州市			■■■■				0.0	0.0	継続	0/1	0%
合計													0.0	0.0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C1-1	基幹事業(A-1)で整備した浸水空間を用いて環境学習を行うことで、河川愛護について理解を図る。														

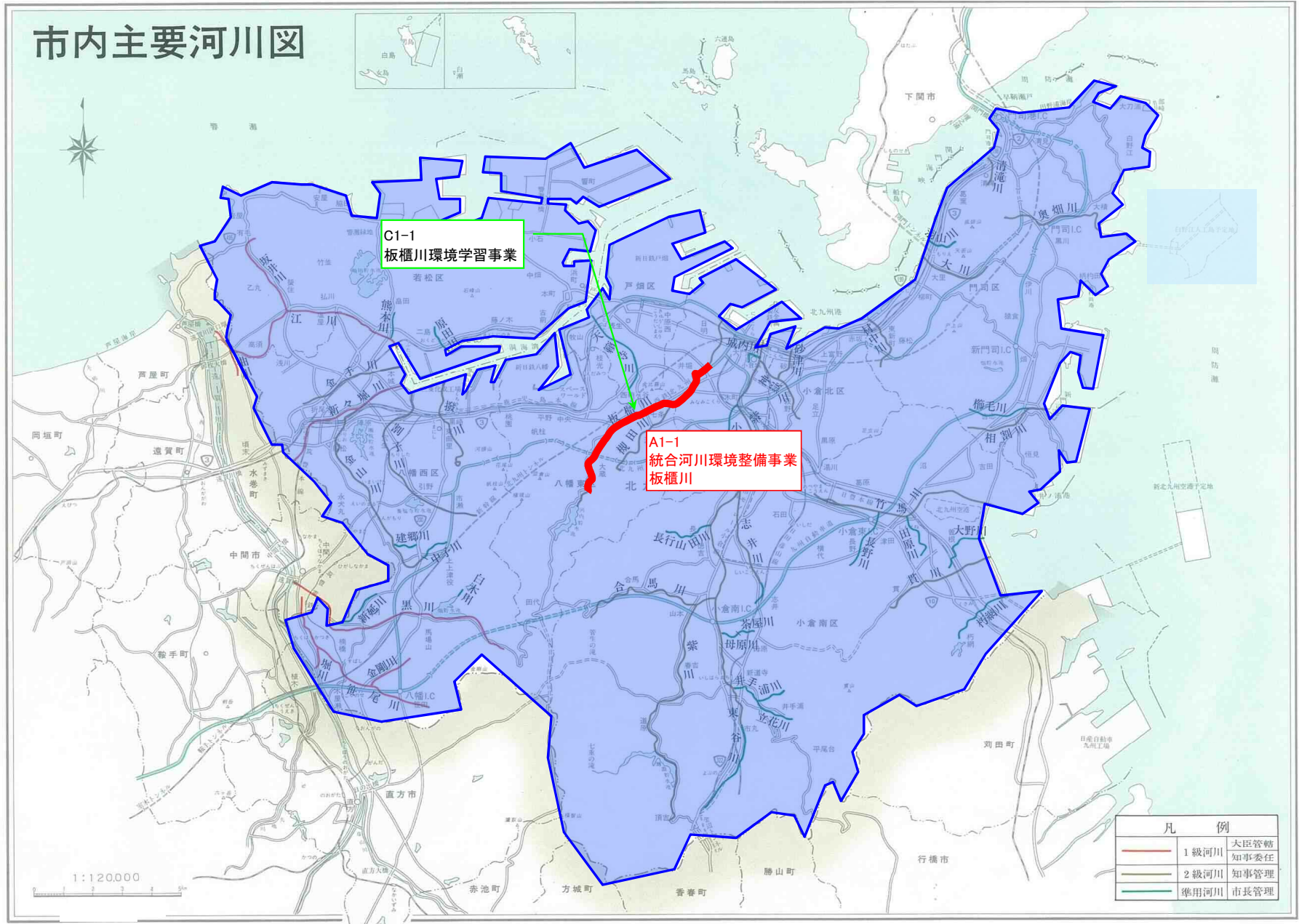
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況														
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画の交付対象事業は、平成22～23年度において、旧計画である「北九州市における公園緑地事業等の推進による市民満足度の向上」の要素事業として位置付けたものである。</li> <li>平成24年度は「地域自主戦略交付金」の対象事業とし、平成25～26年度は「重点配分対象事業」として新たに本計画を策定して重点的に事業を推進した。</li> <li>本事業において、河道整備として管理道や階段を設置する等して災害時の安全性とともに親水性や地域の快適性の向上を図ったことにより、河川環境が改善した。</li> </ul>									
II 定量的指標の達成状況				指標①: 『市民意識調査』の『平均スコア』の5ヵ年平均値	最終実績値	0.572 (H22～H26の平均値)	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終実績値は、最終目標値(0.590)を下回ったものの、計画期間中のすべての調査年における平均スコアが当初現況値(0.518)を上回った。</li> <li>市民意識調査における評価スコアの順位について、平成22～23年度は33項目中、平成24～26年度は34項目中それぞれ2位を維持しており、市民の評価は高水準にあったが、調査年における話題やニュース等(例えば、暴力追放運動等)によりスコアが左右されるため、目標値と実績値に差が生じた。</li> </ul>						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況					<ul style="list-style-type: none"> <li>板櫃川では、従前から流域における河川愛護活動が盛んで、近隣小学校や河川愛護団体、地域住民による清掃や除草等が行われていた。</li> <li>平成9年1月、国土交通省(旧建設省)の「水辺の楽校プロジェクト」の登録を受けたことで、更に連携を深めながら地域が主体となって河川の維持・管理に携わるようになった。</li> <li>平成14年8月、「板櫃川・槻田川流域会議」が発足し、当該河川における環境学習や体験イベント等が活発化した。</li> <li>こうした取組の中、本計画に基づく河川環境整備により、身近な利用者において「地域の河川を自ら育み・活用する」機運が高まり、河川愛護活動や自然環境に対する啓発に寄与している。</li> <li>計画期間におけるソフト施策のうち環境学習の成果として、市内の小中学生を対象とした「学習プログラム」(期間中に延べ55校、3,091名が参加)や、源流までのトレッキング等を体験する「板櫃川リバーアドベンチャー」(期間中に年1回、計5回開催、延べ133名が参加)を実施したこと等が挙げられる。</li> </ul>									

3. 特記事項(今後の方針等)														
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、河川環境整備を行うとともに、更なる愛着を育むソフト施策を推進する。</li> <li>定量的指標については、客観的な観点から適切に事業評価が行えるよう、今後、必要に応じて指標(目標値)の見直し、または代替指標の設定等について検討する。</li> <li>ソフト施策の課題として、環境学習や体験イベント等の継続的な開催及び実施体制の自立化等が挙げられる。今後は、地域や関係団体等が主体となった継続的かつ自立的な活動に対する支援等について検討する。</li> <li>交付対象事業については、引き続きPDCAサイクルを実施して実効性のある評価及び改善を行い、次期計画等においてフィードバックするよう努める。</li> </ul>														

# 参考図面（重点配分対象事業）

計画の名称	北九州市における身近に自然を感じる河川環境整備の推進	交付団体	北九州市
計画の期間	平成25年度～平成26年度（2年間）		



凡 例	
<span style="color: red;">—</span>	1 級河川 大臣管轄 知事委任
<span style="color: blue;">—</span>	2 級河川 知事管理
<span style="color: green;">—</span>	準用河川 市長管理

1:120,000